



広範囲可動溶接ロボットの導入による 大型製品溶接の生産性向上

国内外においてラフテレーンクレーンの需要が高まっていることで、当社で製造する旋回台へのニーズに変化があった。その対応策として、溶接の生産体制を強化し、品質や生産性を向上する必要があった。そこで、溶接ロボット、2軸スライダー、3軸ポジショナーを導入。大型製品の溶接工程の効率化に成功した。

company profile

代表者メッセージ



代表取締役
梶尾 哲也

独自のコミュニケーションを大切に、創るものはハードでも、発想は常に斬新な会社です。

経営方針は、創業以来「自他共栄」を基本としております。社員全員の福祉と生活の向上がなければ企業の繁栄はありません。そして、社員の家族、そして取引先の皆さまにまで広がっていくことが私たちの願いです。企業の社会性を重んじ、相互信頼を確立する「自他共栄」は最強組織への道だと信じています。私たちの得意技は、金属をくっつける溶接の技術です。これに誠実の一味を加えて、人の心をくっつけるコミュニケーションを行っています。

企業情報

所在地	香川県高松市三谷町3529-8
TEL	087-888-5781
設立	1968年1月
代表者	梶尾 哲也
業種	生産用機械器具製造業
従業員数	96名
事業内容	建設用油圧式クレーン部品等の製造、各種溶接等

01

Background of effort 取り組みの経緯



当社では、タダノ製大型クレーンの旋回台5種の内、2種の製造を請け負ってきたが、タダノでは大型クレーン増産にあたり製品設計の見直しが行われ、5種を1種に統合することとなった。本年1月、タダノよりその製造を全面的に当社に発注したいと申し入れがあった。これはタダノが増産する大型クレーンの旋回台の製造を当社が一挙に担うという重責を伴う事業となる。この要請に応えるために、生産性と精度を大幅に改善する必要があった。

02

Implementation content 実施内容



本事業は、すでにある取引先の当社へのニーズへ対応するための取り組みである。そのため5段階にわたっての明確な事業化スケジュールをたてられた。それをもとに、中核となる

溶接工程の生産性向上と、自動化を目指し、溶接ロボットと2軸スライダー、3軸ポジショナーを導入。人の手では難しい箇所への溶接もロボットが自動で行い、精度と再現性を高めることを目指した。メーカーとオペレーターが何度も対話を重ねる中で、トライ＆エラーを繰り返しながらではあるが、徐々に溶接精度と生産性をアップさせることができた。コロナの影響もあったが、概ね事前に立案したスケジュールの通りに、事業を進められている。

03

Achievement 成果



自動化により、従来の作業量の3割を削減するに至り、今後、クレーンに係わる製品製造のほとんどは導入設備で請け負える状態になった。タダノからも好反応をいただいている。生産性が向上したことで、人材育成のための時間も確保することができた。当社は様々な設備を保有しているが、操作従事者が限定されていた。したがって、作業員の欠員が生じれば、すぐに製造計画に悪影響が及ぶ。複数の機械の操作ができる多能工を養成するための時間と労力も得られたことで、リスクマネジメントができるようになった。



会社のPR

当社の技術力を様々な分野へ！ 産業廃棄物の運搬用のコンテナを製造。

2020年にコロナの影響で仕事量が減った際、産業廃棄物運搬用のコンテナの製造・販売に着手。当社で培った技術をいかし、地域の業者に貢献したいという思いがあり、安全性を高め、価格を抑えるように努力した。また修理などが必要であれば、対応できるのも強み。すでに200個ほどを販売した。